

報告第13号

公益財団法人豊川市国際交流協会の経営状況について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定に基づき、公益財団法人豊川市国際交流協会の経営状況について、別冊のとおり報告する。

平成26年8月28日提出

豊川市長 山 脇 実

公益財団法人豊川市国際交流協会経営状況報告書

平成 2 5 年 度 事 業 報 告

豊川市国際交流協会は、平成 2 年 4 月 1 日の設立以来、国際交流、国際親善についての理解と関心を高め、市民による幅広い国際交流活動を推進することにより、諸外国との相互理解と友好親善を図ってきました。

平成 2 4 年 4 月からは、愛知県から公益認定を受け、公益財団法人として新たな一歩を踏み出すこととなりました。

こうした中、平成 2 5 年度は、引き続き国際理解を深めるための各種講座や交流会事業や、在住外国人の生活などを支援するための日本語教室、相談等の多文化共生社会づくりのための事業を実施しました。

また、豊川市とキュパティーノ市（アメリカ合衆国）との姉妹都市提携 3 5 周年にあたったため、市民使節団を派遣するとともに、キュパティーノ市の市民使節団との交流や市民に応募していただいた写真によるパネル展を実施しました。

今後も、ボランティアや関係団体の方々との連携を密にし、公益性を活かしながら時代に即した事業を展開して、外国人を含めた市民が安全で安心して暮らせる地域づくりを目指していきます。

公益目的事業 1

諸外国との相互理解と友好親善を深めるための国際交流と国際協力に関する事業

(1) 交流会

地域の人々と外国人との交流を通じて、相互理解と親善を深めることにより、国際的な視野を広め、国際感覚の醸成を図り、地域レベルでの国際交流、相互理解、友好親善を深めました。

①オイスカ（O I S C A）中部日本研修センター青年研修生との交流会

日 時 平成 2 5 年 5 月 1 7 日（金） 午後 6 時から

場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室

参加者 3 9 人（このうちオイスカ研修生 6 人、指導員 2 人）

内 容 日本の農業技術を習得するためにオイスカ中部日本研修センターに滞在している開発途上国の青年研修生 6 人と指導員 2 人を招き、ひまわり農業協同組合の協力を得て、カントリーエレベーターやトマト集出荷場を始め市内の農業施設を見学したのち、本協会の会員との交流会を行い、相互の友好と親善を図りました。

②ホームステイによる外国人研修生等との交流

期 日 平成 2 5 年 9 月 6 日（金）夕方から 9 月 8 日（日）夕方

参加留学生 2人

ホストファミリー 1家族

内 容 豊橋技術科学大学が実施した国際研修プログラムに参加したインドネシアの大学生のホームステイを受け入れ、交流と親睦を図りました。

③七夕交流会

日 時 平成25年7月6日(土) 午後1時30分から

場 所 市勤労福祉会館 第2会議室

参加者 46人(このうち外国人8人、子供14人)

内 容 日本の伝統行事七夕祭りにふれながら、日本人と外国籍の人との交流を図りました。子供が主な対象でしたが、大人の参加も多く、七夕飾りづくりや折り紙の金魚つり、ゆかたの試着などを行いました。

④お月見交流会(台風18号の接近に伴い中止)

日 時 平成25年9月15日(日) 午後7時から

場 所 市勤労福祉会館前 玄関スペース

⑤折り紙交流会

日 時 平成25年9月28日(土) 午後2時から

場 所 市勤労福祉会館 和室まつ

参加者 20人(このうち外国人13人、子供11人)

内 容 ラテンアメリカ部会が行っているペクラに参加している子供たちを対象に、折り紙数種と新聞でのかぶとづくりを通して、交流を図りました。

⑥ワールドフェスティバル2013

日 時 平成25年12月8日(日) 午後0時40分から

場 所 市勤労福祉会館 大研修ホール

参加者 299人(このうち外国人90人、子供18人)

内 容 今回、「世界の演芸大会」を実施したところ、12組38人の参加があり、参加者が増加しました。

また、ラテンアメリカの歌と踊りの披露や世界各国のおやつを味わいながらの交流を通して、相互の親睦と国際理解を深めました。

⑦節分交流会

日 時 平成26年2月2日(日) 午後1時30分から

場 所 市勤労福祉会館 和室さつき

参加者 74人(このうち外国人9人、子供26人)

内 容 この地域に住む日本人や外国人に日本の文化の一つである節分の行事を、子供たちが楽しめるよう童話の絵本の読み聞かせにより紹介するとともに、三味線やオカリナの演奏に合わせた民謡や踊り、また豊川市諏訪地区のイメージキャラクターのすわポンを招いて、いっしょに豆まきなどをして、相互の交流と国際理解を深めました。

(2) ジュニアフレンドシップ事業

青少年の国際化への関心を深めるために、ゲームや野外活動を通して多国籍の外国人との交流を行い、相互理解を図りました。

①キッズワールド・サマースクール

日 時 平成25年7月14日（日） 午前8時30分から

場 所 鳳来寺山、旧鳳来寺高校、旧門谷小学校（新城市）

対象者 小学校4、5、6年生

参加者 60人（このうち外国人6人、子供37人）

内 容 子供たちの国際化への関心を深めるため、鳳来寺山へのハイキングやゲーム、木工体験などを通して外国人との交流を図りました。

公益目的事業2

地域の国際化を推進するための人材の育成と市民活動支援に関する事業

(1) ボランティア登録・育成・紹介等事業

地域の国際化に関心のある市民を、ボランティアとして募集、登録、育成するとともに、ボランティア活動の紹介を行いました。また、地域の国際化を推進するための人材の育成と市民活動の活性化に向けて支援しました。

①日本語学習支援、イベント支援等のボランティアの募集・登録

機関誌「We」やホームページに掲載して、募集、登録を促しました。

②協会の事業実施状況、ボランティアグループの活動状況の紹介、情報交換やボランティア活動における課題について話し合う意見交換会

毎月1回、各部会の代表者からなる運営委員会を開催しました。

開催回数 12回

③市民まつり「おいでん祭」での活動紹介

期 日 平成25年5月25日（土）～26日（日）

場 所 市野球場

内 容 ペルーなどのPR、協会事業のチラシ等の配布、南アメリカの食べ物や飲み物の販売、民族衣装の展示、試着、南アメリカの伝統的な踊

りと音楽演奏の披露（ステージ）などを行いました。

④外国人市民を始めとした市民や関係機関からの要請や問い合わせに対し、登録ボランティアの紹介

(2) 国際理解講座

人権、環境、多文化共生、平和など地球規模の課題への理解を深め、解決に向けた実践的な行動を起こすことができる市民の育成を狙いとした講座や講演会、演奏会を行うことにより、市民の国際理解を深める取り組みを推進しました。

①文化講座

どんな国シリーズとして、第1回目は豊川市在住のタイ出身の方を、第2回目はスペイン出身で豊橋在住の方を講師に招き、それぞれの国の歴史、風俗、習慣などについて紹介していただき、国際的な知識と視野を広めました。

・第1回目 「タイってどんな国」

日 時 平成25年9月29日(日) 午後2時から

場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室

講 師 熊谷 パイラジットさん(タイ出身)

参加者 91人(このうち出演者23人)

内 容 タイの歴史や文化についての講話とタイ舞踊、ムエタイの実演を行いました。

・第2回目 「スペインってどんな国」

日 時 平成26年3月8日(土) 午後2時から

場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室

講 師 ダニエル サルボさん(スペイン出身)

参加者 81人

内 容 スペインの歴史や文化、生活習慣についての紹介のあと、フラメンコの実演を行いました。

②世界の料理教室

世界の食文化を理解するため、さまざまな国の料理の作り方を学んでいます。これまで、スリランカ、イタリア、スペイン、フランス、韓国、ロシア、日本、中国、タイ、シリア、ブルガリア、マレーシア、ベルギー、ブラジル、ナイジェリア、ペルーなどの料理について講習を受けました。

今年も2か国の家庭料理の作り方を学び、その国の食文化に接しながら国際理解を深めました。

・第1回目 「タイ家庭料理」

日 時 平成25年6月30日(日) 午前10時から午後1時

場 所 市勤労福祉会館 調理実習室
講 師 熊谷 パイラジットさん
参加者 38人
内 容 協会の部会員の協力のもとで、春雨のサラダ、鶏肉のスープ、タイカレー、バナナ羊羹などを作りました。

・第2回目 「スイス家庭料理」

日 時 平成26年3月16日(日) 午前10時から午後1時
場 所 市勤労福祉会館 調理実習室
講 師 片岡 早苗さん
参加者 41人
内 容 協会の部会員の協力のもとで、ラクレット(じゃがいもの溶かしチーズかけ)、エマンセ・アラ・チューリッヒノア(細切り肉のクリーム煮)、アイスクリームのラズベリーソースかけなどを作りました。

③外国籍の方のためのかんたん日本料理教室

日 時 平成25年11月17日(日) 午前10時から
場 所 市勤労福祉会館 調理実習室
講 師 協会の部会員
参加者 24人(このうち外国人15人)
内 容 ラテンアメリカ部会員やその家族といっしょに、丼もの、紅白なます、みそ汁をつくりました。

④国際理解講演会

日 時 平成25年6月23日(日) 午後2時から
場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室
講 師 大須賀 関雄 ケネスさん
参加者 51人
内 容 「日本の常識が海外で通用しない～知っておかないと失敗する文化の違い～」と題する講演会を開催して、日本や日本人の国際化に関する理解を深めました。

⑤第5回チェコの夕べ

愛・地球博で旧音羽町のフレンドシップ国であったチェコ共和国出身のソプラノ歌手による歌とピアノの演奏やチェコ民話の朗読の会を開催するとともに、チェコ部会の活動紹介を通して、チェコ共和国やその音楽に対して、理解を深めました。

日 時 平成25年7月26日(金) 午後6時30分開演

場 所 市音羽文化ホール
出 演 ズデンカ・メルヴォヴァーさん（チェコ共和国出身、ソプラノ）、
佐藤 GWAN 博さん（朗読）、中島 Masako 佐知さん（ピアノ）
入場者 240人

⑥日本語ボランティア養成講座

期 日 平成26年2月16日（日）、23日（日）、3月2日（日）
場 所 市音羽文化ホール 大会議室
講 師 本多 章義さん（豊川市こぎつね教室コーディネーター）
受講者 28人
内 容 主に日本語ボランティアに興味があったり、これから始めてみたい
と思っている人を対象に、日本語の教え方のポイントや「やさしい日
本語」での伝え方などについての講座を開催しました。

(3) 姉妹都市等の交流

海外へ青少年を派遣し、異文化体験や交流、相互理解の機会を通して、地域の国際化を推進する人材の育成を図りました。

また、豊川市とキュパティーノ市（アメリカ合衆国）との姉妹都市提携35周年にあたり、市民使節団を派遣するとともに、キュパティーノ市の市民使節団との交流会や市民から応募のあった写真によるパネル展を実施しました。

①高校生海外派遣事業

豊橋市国際交流協会との広域国際交流事業により豊橋市の姉妹都市であるアメリカ合衆国トリード市のトリード大学を会場にして毎年、夏季に開催される「トリード インターナショナル ユースアカデミー」（トリード国際姉妹都市協会が主催する青少年交流事業）に市内在住の高校生を派遣しました。

期 日 平成25年7月20日（土）～8月6日（火）（18日間）
訪問先 アメリカ合衆国オハイオ州トリード市
参加者 本市在住高校生4人（そのほか豊橋市在住の高校生6人と引率教諭1人）
内 容 英語での講義を受けたほか、各国青少年の文化交流及び相互理解を目的としたカリキュラムの授業への参加やホームステイ先での生活体験を通じ、次代を担う青少年の国際的視野を広め、世界の同世代の若者たちとの友好と親善を深めました。

②姉妹都市提携35周年記念キュパティーノ市親善使節団派遣

期 日 平成25年7月9日（火）～16日（火）（6泊8日）
訪問先 キュパティーノ市（アメリカ合衆国カリフォルニア州）
参加者 22人（市と協会関係者4人を含む。）

内 容 キュパティノー市役所訪問や周辺都市の施設の見学、ホームステイを含めたキュパティノー市民との交流などを行い、双方の友好と親善を深めました。

③キュパティノー市からの使節団とのバーベキュー交流パーティー

キュパティノー市からの市民使節団の訪問に際し、双方の市民同士の友好関係を深めるため、協会のキュパティノー部会が中心となって、バーベキュー交流パーティーを開催しました。

日 時 平成25年11月12日(火) 午後1時から3時

場 所 市音羽運動公園キャンプ場

参加者 77人(このうちキュパティノー市の使節団員19人)

内 容 キュパティノー市の使節団員と昼食をいっしょにとりながら歓談しました。

④キュパティノー市・豊川市姉妹都市提携35周年記念パネル展～のびる・ひろがる姉妹都市～

姉妹都市提携の翌年(1979年)にキュパティノー市から贈られたセコイアの木の特徴である「上にのびる、横にひろがる」ということを両市の交流に見立て、これまで姉妹都市交流に携わった市民から写真を募集してパネルにし、2回にわたって展示しました。

期間及び場所

・1回目 平成25年11月11日(月) 市民プラザロビー(プリオⅡ)
平成25年11月12日(火)～16日(土) 市勤労福祉会館ロビー

・2回目 平成26年2月21日(金)～28日(金) 市民交流ホール(プリオ)

出展者 68人(応募写真130枚)

内 容 市民の皆さんからの写真に両市が贈った記念品や訪問の様子などの写真を加えて、164枚のパネルにして展示しました。

(4) 外国語講座

語学学習及び外国人との会話を通して外国文化に触れ、国際的感覚を養いました。料理でおいしいハンゲルは120分6回コース、中国語会話講座は90分15回コースで実施し、そのほかの講座は90分の12回コースで実施しました。

①英会話講座(定員各25人、英語ボランティアガイド入門は20人)

ア やさしい英会話

平成25年5月7日～7月30日(受講者18人)

イ 基礎英会話

平成25年5月13日～8月5日(受講者17人)

- ウ 英会話初級A
平成25年9月3日～11月19日（受講者18人）
- エ 英会話初級B
平成25年9月4日～11月20日（受講者17人）
- オ 楽しいディスカッション
平成25年12月10日～平成26年3月25日（受講者20人）
- カ 英語ボランティアガイド入門
平成25年12月10日～平成26年3月25日（受講者14人）

②韓国語会話講座

- ア 初めてのハングル（定員20人）
平成25年5月15日～7月30日（受講者10人）
- イ 料理でおいしいハングル（定員16人）
平成25年9月4日～11月20日（受講者15人）

③中国語会話講座（定員20人）

- ア 使える中国語1
平成25年8月22日～11月28日（受講者19人）
- イ 使える中国語2
平成25年12月5日～3月27日（受講者23人）

④スペイン語会話講座（定員20人）

- ・ やさしいスペイン語
平成26年1月8日～3月26日（受講者19人）

公益目的事業3

外国人と共に暮らす多文化共生社会の実現に向けた事業

(1) 日本語学習支援事業

外国人住民が日本人と円滑なコミュニケーションをとり、充実した日常生活を送ることができるよう支援するために日本語教室を開催するなど日本語習得の機会を提供し、文化や制度などの理解を深められるよう日本語の上達を図り、多文化共生社会づくりを推進しました。

①日本語教室の開催

- ・ 夜クラス

日本語習得を希望する外国人を日本語の能力別にクラス編成し、能力にあった日本語指導を行いました。

日 時 4月～3月の毎週土曜日 午後7時45分から午後9時まで
場 所 市勤労福祉会館 第1会議室ほか
受講者 延べ174人(34期(3月から7月)78人、35期(9月から2月)96人)
講 師 協会の部会員(34期34人、35期36人)
内 容 入門から上級まで、6クラスに編成して、1期5か月(概ね20回)で修了し、年2回開講しました。

・ひるまクラス

日本語を勉強したい人が多くの受講機会が得られるよう、前年度から引続いて午前中の教室を開講しました。

時 期 4月～3月の火曜日から木曜日 午前10時30分から12時まで
場 所 プリオビル5階
受講者 延べ20人(2期(3月から7月)13人、3期(9月から2月)7人)
講 師 協会のボランティア(2期12人、3期9人)
内 容 入門から上級まで、小グループ又は個人レッスンで行い、1期5か月(概ね20回)で修了し、年2回開講しました。

②ひらがなしんぶん発行事業

市内在住の外国人家族を対象に「ひらがな」で、日本の風俗習慣などを中心に、生活に関わる情報を提供し、日本人との円滑な交流ができるようにすることを目的として毎月1回発行し、保育園、幼稚園、小・中学校を通して配付しました。

発行回数 12回(毎月1回)
発行部数 630部/回

③豊川市日本語スピーチコンテスト(第4回)

豊川市に在住する日本語が母国語でない小学生以上の男女による日本語スピーチコンテストを開催し、日本での生活を通して考えたことや伝えたいことを発表することにより、国際理解を深めるとともに、市民相互の交流を図りました。

日 時 平成25年11月3日(日) 午後1時30分から
場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室
出場者 6人

・小、中学生の部 2人

協会会長賞 「僕にとっての強敵」 梅村 ウィリアン君(代田中3年)

・高校生以上一般の部 4人

協会会長賞 「日本で私が歩んできた道」 奇 耀文さん(通訳)

なお、小、中学生の部から2人、高校生以上一般の部から3人が東三河日本語

スピーチコンテスト（平成26年1月26日新城市富岡ふるさと会館で開催）へ出場し、本協会からは梅村 ウィリアン君と奇 耀文さん、朱 皓清さんが特別賞を受けました。

(2) ペクラ事業

この地域に在住するラテンアメリカにつながる子どもたちが、母国語や日本語で円滑なコミュニケーションをとれるように母国語教室及び日本語教室を開催するとともに、学習支援などを実施して、多文化共生社会づくりの促進を図りました。

①ポルトガル語、スペイン語、日本語教室の開催

日 時 4月～3月の第1、2、3土曜日（第4土曜日は日本語教室のみ）
の午後2時から午後5時まで、年間30回開講
場 所 主に市社会福祉会館（ウイズ豊川）
講 師 専門講師及び協会部会員
登録者 57人（小・中学生）
内 容 母国語、日本語及び学校の教科の学習支援を行いました。

②中学生以上の学習支援

日 時 4月～3月の毎週火、水、木、金、土曜日の午後7時から午後9時
まで、年間236回開講（※3月以降、火、木、金、土）
場 所 ボランティア市民活動センタープリオ（プリオ4階）
講 師 協会のボランティア
登録者 12人（中学3年生、高校生）
内 容 高校入学や在学のための学習指導を行いました。

③アトリエ

日 時 4月～3月の第1、2、3土曜日の午後6時から午後9時まで、
年間30回開催
場 所 主に市社会福祉会館（ウイズ豊川）
参加者 15人（小・中・高校生）
講 師 協会部会のボランティア
内 容 ラテンアメリカの民族舞踊を教えることで、子供たちに母国の文化の伝承と意識づけを図りました。

(3) 外国人多言語相談事業

外国人市民が抱える問題に対し、母国語で相談できるよう住民に関する生活情報等の収集、提供を多言語で行うことにより、外国人市民への生活支援の充実を図ることで、多文化共生社会づくりを推進しました。

①ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語による生活相談及び情報提供

・相談件数	90件
内訳	生活情報 17件
	労働問題 3件
	出入国関係 4件
	その他 66件

②おまわりさんと話す会

日時	平成25年11月30日（土）	午後4時から
場所	市勤労福祉会館	視聴覚室
参加者	32人（ラテンアメリカ部会のペクラ参加者及びその保護者など）	
内容	豊川警察署員から子供を取り巻く事件や多発する交通事故の現状についての講話を聞き、事件や事故に遭わないための方策などの指導を受けました。	

(4) 翻訳事業

住民、行政機関、各種団体からの翻訳の依頼に対し、必要な翻訳を行い多文化共生社会づくりに寄与しました。

①個人から行政機関等に提出する公文書、市役所等が外国人向けに提供する行政情報及び公的な文書の翻訳

通年にわたり、英語、中国語、スペイン語の通訳、翻訳などを行いました。

公益目的事業4

地域の国際化を推進するための調査研究及び情報提供に関する事業

(1) 機関誌発行事業

地域の国際化に関する情報を市民や関係団体に情報提供することで、市民レベルでのボランティア活動の推進と地域の国際化を図りました。

①機関誌「We」の発行

発行回数	年4回（5月、8月、11月、2月）
発行部数	1,400部/回

(2) 広報とよかわ「インフォーマ」スペイン語・ポルトガル語版翻訳事業

日本語が分からないために情報格差が生じがちな外国人市民に対し、市広報の行政情報の一部を母国語で提供しました。

①「インフォーマ」の翻訳

発行回数 年12回

発行部数 1,800部/回

(3) 協会ホームページの運営

広報手段として重要なホームページを管理・運営することにより、生活に必要な情報を速やかに提供するとともに、協会の事業やボランティア活動に参加を促し、地域の国際化の推進を図りました。

①ホームページでの情報提供

通年で、ホームページを活用して、本協会の行事予定や活動状況、語学講座や文化講座の諸事業をより多くの方に情報提供し協会事業への参加を促すための情報発信を行いました。

(4) ざっくばらんに話そう

市内及び近隣地域に在住する外国人と日本人が、日常生活の中で感じていることを本音で語り合う会「ざっくばらんに話そう」を開催し、外国人市民と日本人市民の相互理解を深め、外国人市民が安心して暮らしていけるよう何をすべきか検証し、今後、本協会が取り組んでいかなければならない事業の方向性を検討する機会としました。

①「ざっくばらんに話そう」(第4回)

日時 平成25年11月24日(日) 午後2時から

場所 市勤労福祉会館 第2会議室

参加者 29人

内容 関係者の情報提供や体験者の話を聞いたあと、子供の進学や勉強について、普段の生活の中で感じていることを話し合いました。

附属明細書

平成25年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。

決算報告

貸借対照表

平成26年3月31日現在

公益財団法人豊川市国際交流協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	2,859,575	2,865,026	△5,451
未収金	0	0	0
前払金	0	0	0
有価証券	0	0	0
流動資産合計	2,859,575	2,865,026	△5,451
2.固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	1,750,000	1,750,000	0
投資有価証券			
利付国債	214,000,000	214,000,000	0
基本財産合計	215,750,000	215,750,000	0
(2)特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3)その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	215,750,000	215,750,000	0
資産合計	218,609,575	218,615,026	△5,451
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	222,993	160,690	62,303
前受金	145,000	170,500	△25,500
預り金	0	0	0
流動負債合計	367,993	331,190	36,803
2.固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	367,993	331,190	36,803
III 正味財産の部			
1.指定正味財産			
指定正味財産合計	215,750,000	215,750,000	0
(うち基本財産への充当額)	215,750,000	215,750,000	0
2.一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	218,241,582	218,283,836	△42,254
負債及び正味財産合計	218,609,575	218,615,026	△5,451

正味財産増減計算書
平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	2,782,525	2,782,526	△1	国債運用
基本財産受取利息	2,782,525	2,782,526	△1	
特定資産運用益	0	0	0	
特定資産受取利息	0	0	0	
受取会費	2,630,000	2,760,000	△130,000	賛助会費(個人3千円、家族5千円、団体1万円 終身3万円) △130,000
奨励会員受取会費	2,630,000	2,760,000	△130,000	
事業収益	6,837,210	3,364,440	3,472,770	語学講座他受講料、各種参加費 20,000
参加費等収益	6,649,210	3,196,440	3,452,770	
負担金収益	0	0	0	
雑収益	188,000	168,000	20,000	広告費他
受取補助金等	13,206,347	12,550,000	656,347	市からの人件費及び事業費補助金
受取豊川市補助金	13,206,347	12,550,000	656,347	
受取一般補助金	0	0	0	
受取寄附金	40,000	30,000	10,000	公1事業への寄附金
受取寄附金(一般)	40,000	30,000	10,000	
雑収益	206,189	248,832	△42,643	
受取利息	2,123	938	1,185	
雑収入	204,066	247,894	△43,828	雇用保険料、講師派遣謝礼
経常収益計	25,702,271	21,735,798	3,966,473	
(2) 経常費用				
事業費	18,356,969	13,074,001	5,282,968	常務理事報酬 452,160 市派遣職員1名、職員2名 374,292 臨時職員2名 △180,308 共済組合、社会保険料等事業主負担分 44,310 2,100 3,768,719 豊川市市民使節団、日本語教室ホワイエ、トート送迎他
役員報酬	452,160	0	452,160	
給料手当	4,932,436	4,558,144	374,292	
臨時雇賃金	1,171,372	1,351,680	△180,308	
福利厚生費	1,684,810	1,640,500	44,310	
会議費	2,100	0	2,100	
旅費交通費	3,920,559	151,840	3,768,719	
通信運搬費	335,689	163,172	172,517	電話料金、郵便料金、宅急便料金
減価償却費	0	0	0	
消耗品費	1,357,363	966,887	390,476	日本語教室、世界の料理、文化講座、ホワイエ、トート送迎他
印刷製本費	782,670	694,862	87,808	機関誌we発行(1回1,400部)、封筒、ホワイエ
燃料費	0	0	0	
光熱水費	0	0	0	
賃借料	283,552	44,432	239,120	財務システム、複写機、電話機、公用車リース等
保険料	24,519	2,714	21,805	
諸謝金	1,550,651	1,588,100	△37,449	講師謝礼
租税公課	0	0	0	
支払負担金	1,519,388	1,630,870	△111,482	高校生海外派遣(トート市)負担金
支払助成金	282,000	280,800	1,200	ホワイエ活動交付金、ホワイエ活動補助金
委託費	57,700	0	57,700	
支払下送料	0	0	0	
雑費	0	0	0	
管理費	7,387,556	8,702,453	△1,314,897	常務理事報酬 △462,760 市派遣職員1名、職員2名 △743,521 臨時職員2名 292,843 共済組合、社会保険料等事業主負担分 △64,547 4,617 14,040 16,880 344,165 0 0 178,526 0 11,025 72,100 41,764 1,472,201 0 0 1,364,015 0 0 11,138 0 0 37,180 57,980 25,744,525
役員報酬	1,808,640	2,271,400	△462,760	
給料手当	2,580,233	3,323,754	△743,521	
臨時雇賃金	292,843	0	292,843	
福利厚生費	775,801	840,348	△64,547	
会議費	4,617	8,690	△4,073	
旅費交通費	14,040	16,880	△2,840	一般旅費
通信運搬費	161,258	344,165	△182,907	電話料金、郵便料金、宅急便料金
減価償却費	0	0	0	
消耗品費	179,998	178,526	1,472	印刷用紙、インク、マスタ、事務用品
印刷製本費	31,500	72,100	△40,600	公用車ガソリン
燃料費	57,288	41,764	15,524	
光熱水費	0	0	0	
賃借料	1,364,015	1,472,201	△108,186	財務システム、複写機、電話機、公用車リース等
保険料	0	0	0	
諸謝金	11,138	0	11,138	
租税公課	0	4,000	△4,000	
支払負担金	0	0	0	
委託費	0	52,500	△52,500	パソコン保守
支払下送料	37,180	8,145	29,035	
雑費	57,980	67,980	△10,000	愛知県社会保険協会ほほ5団体費他
経常費用計	25,744,525	21,776,454	3,968,071	
評価損失等調整前当期経常増減額	△42,254	△40,656	△1,598	
評価損益等	0	0	0	
当期経常増減額	△42,254	△40,656	△1,598	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△42,254	△40,656	△1,598	
一般正味財産期首残高	2,533,836	2,574,492	△40,656	
一般正味財産期末残高	2,491,582	2,533,836	△42,254	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	215,750,000	215,750,000	0	
指定正味財産期末残高	215,750,000	215,750,000	0	
III 正味財産期末残高	218,241,582	218,283,836	△42,254	

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日、平成21年10月16日改正：内閣府公益認定委員会)を採用している。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・償却原価法(定額法)によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法
定額法による減価償却によっている。

(3) 消費税等の会計基準
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	214,000,000	0	0	214,000,000
定期預金	1,750,000	0	0	1,750,000
小計	215,750,000	0	0	215,750,000
特定資産				
特定資産				
小計	0	0	0	0
合計	215,750,000	0	0	215,750,000

(単位：円)

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対する額)
基本財産	215,750,000	215,750,000	0	0
投資有価証券等	215,750,000	215,750,000	0	0
小計	215,750,000	215,750,000	0	0
特定資産				
特定資産				
小計	0	0	0	0
合計	215,750,000	215,750,000	0	0

4. 担保に供している資産
担保に供している資産はない。

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

科目	時価	帳簿価格	評価損益
第267回利付国債	214,000,000	214,000,000	0
合計	214,000,000	214,000,000	0

(単位：円)

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増減額	当期減少額	当期末残高
平成25年度豊川市国際交流協会補助金	豊川市	0	13,206,347	13,206,347	0
合計		0	13,206,347	13,206,347	0

(単位：円)

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳はない。

1. 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表に対する注記2及び3に記載しているため省略。

附属明細書

財産目録

平成26年3月31日現在

公益財団法人豊川市国際交流協会

(単位:円)

貸借対象表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金			
普通預金	豊川信用金庫/本店	運転資金として	1,479,575
定期預金	豊川信用金庫/本店	運転資金として	380,000
	ひまわり農業協同組合/本店		1,000,000
流動資産合計			2,859,575
2.固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	豊川信用金庫/本店	公益目的保有財産であり、 運用益を公益目的事業の財 源として使用している。 管理運営用財産であり、協会 の管理運営に使用している。	1,750,000
投資有価証券			
利付国債	豊川信用金庫/本店		214,000,000
基本財産合計			215,750,000
固定資産合計			215,750,000
資産合計			218,609,575
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金		臨時職員3月分賃金未払分	222,993
前受金		平成26年度日本語教室受講料 賛助会費	145,000
流動負債合計			367,993
負債合計			367,993
正味財産			218,241,582

平成26年度公益財団法人豊川市国際交流協会事業計画

I 事業方針

豊川市国際交流協会は、昭和62（1987）年に発足し、平成2（1990）年に法人化して以来、国際交流、国際親善についての理解と関心を高め、市民による幅広い国際交流活動を推進することにより、諸外国との相互理解と友好親善を図るとともに、多文化共生社会における市民間の相互理解や地域の国際化に寄与してきました。

こうした中、経済情勢に依然として大きな好転はみられず、外国人市民を取り巻く環境は引続き厳しいものがあり、本協会には、「多文化共生社会の実現」を機軸に外国人市民支援事業を積極的に展開するとともに、国際性豊かな地域社会づくりに貢献するため、その役割を果たしていくことが求められています。

これらの事業の円滑な推進はもとより、市民の皆様のご理解とご支援をいただけるよう、ボランティアの皆様とともに多様な事業を展開し、地域の国際化のさらなる進展を目指します。

II 事業計画

平成26年度は、国際理解を深めるための事業の充実と日本語ボランティアへの更なる支援を図るほか、本会の目的を達成するために次の事業を行います。

公益目的事業1

諸外国との相互理解と友好親善を深めるための国際交流と国際協力に関する事業

(1) 交流会

地域の人々と外国人との交流を通じて、相互理解と親善を深めることにより、国際的な視野を広め、国際感覚の醸成を図り、地域レベルでの国際交流、相互理解、友好親善を推進する。

①オイスカ中部日本研修センター青年研修生との交流会（5月）

市内の農業施設の見学時に付き添うとともに、見学終了後、本協会会員との交流会を実施する。

②七夕交流会（6月）

この地域に在住する外国籍の子どもたちといっしょに日本の伝統的な行事「七夕」にまつわる話や演奏などを通じて多文化交流を行う。

③お月見交流会（9月）

この地域に在住する外国人市民等を対象に月明かりの中での日本の伝統的な行事「お月見」の話や楽器の演奏などを通じて多文化交流を行う。

④折り紙交流会（10月）

この地域に在住する外国人市民等を対象に折り紙を紹介し、日本の文化について交流と理解を深める。

⑤ワールドフェスティバル（11月）

この地域に在住の外国人市民と日本人市民とが、音楽や踊りなどを通してより互いを理解しあえる交流の場を設け、多文化理解を図るための催しを行う。

⑥節分交流会（2月）

この地域に在住の外国人を含めた市民を対象に節分について紹介し、ゲームや「豆まき」などを行いながら多文化交流を行う。

⑦ホームステイによる外国人研修生等との交流（随時）

近隣の大学が文部科学省や JICA の主催による研修制度で受け入れた研修生（開発途上国の大学の教職員等）などのホームステイを受け入れ、互いの文化や風俗、生活習慣など相互理解を深める。

(2) ジュニアフレンドシップ事業

青少年の国際化への関心を深めるため、ゲームや野外活動を通して多国籍の人との交流や海外の関係の深い国の子どもたちを市内の歴史・文化施設等へ案内したり中学校などで受け入れを行い、相互理解を深めるための交流を図る。

①マレーシア児童・生徒受け入れ事業

ここ数年、事業が実施できない状況にあるため、事業実施に向けた具体的な方策を検討する。

②キッズワールドサマースクール（7月）

青少年の国際社会への関心を高めるため、この地域に在住する外国人を招き、野外活動やゲームを通じて交流を行う。

公益目的事業2

地域の国際化を推進するための人材の育成と市民活動支援に関する事業

(1) ボランティア登録・育成・紹介等事業

地域の国際化に関心のある市民を、ボランティアとして募集、登録、育成する

とともにホームステイや翻訳・通訳、日本文化体験、諸外国の文化紹介、日本語学習などの要望に対し、登録ボランティアを紹介することにより、地域の国際化を推進するための人材育成と市民活動の活性化を支援する。

- ①日本語学習支援、イベント支援等のボランティアの募集・登録、育成
- ②協会の事業実施状況、ボランティアグループの活動状況や情報交換、ボランティア活動における課題について話し合う意見交換会の開催
- ③市民まつり「おいでん祭」で、ラテンアメリカの文化や協会の事業、ボランティアの活動などを紹介
- ④外国人市民をはじめとした市民や関係機関からの要請や問い合わせに対する登録ボランティアの紹介
- ⑤ボランティアの知識や活動の幅を広げるための、ボランティア研修会や意見交換会の開催

(2) 国際理解講座

人権・環境・多文化・平和など地球規模の課題や地域の国際化についての理解を深め、解決に向けた実践的な行動を起こすことができる市民の育成を狙いとした講座や講演会を行うことにより、国際理解に向けた取り組みを推進する。

①文化講座（年2回）

「どんな国シリーズ」として、県内在住で外国語講師などを行っている外国人の方を招き、世界各国の歴史・風俗・習慣や外国の食文化などを紹介し国際感覚の醸成や国際理解を図る。

②世界の料理教室（年2回）

さまざまな国の家庭料理の作り方などを学び、世界の食文化を理解しながら国際理解を深める。

③日本料理教室

地域に在住する外国籍の方々に、日本の家庭料理の作り方を紹介しながら相互の国際理解を深める。

④国際理解講演会（6月、12月）

多文化共生や国際理解を深める講演会を開催し、地域の国際化や国際感覚を身につけた市民の育成を図る。

⑤「第6回チェコの夕べ」(7月)

チェコ共和国に縁のある講師等を招き、チェコの文化・歴史に触れる講演会や演奏会を開催し、相互の国際理解を深める。

⑥日本語ボランティア養成講座(1月～2月)

日本語を指導するボランティアを目指す人などを対象に心構えや指導方法などの基本的な事項を習得するための講座を開催する。

⑦日本語ボランティアフォローアップ研修(7月～8月)

日本語を指導するボランティアを対象に指導方法などのレベルアップを図る。

(3) 姉妹都市等の交流

豊川市の姉妹都市等への市民訪問や友好関係のある国へ高校生等を派遣し、異文化体験や交流、相互理解の機会を通して、地域の国際化を推進する人材を育成する。

①高校生海外派遣事業(7月～8月)

豊橋市の姉妹都市であるアメリカのトリード市のトリード大学を会場にして毎年、夏休みに開催している「トリード インターナショナル アカデミー」に市内在住の高校生を派遣し、共同行事や意見交換、ホームステイなどを通して、青少年の国際意識の向上を図り、地域の国際化を推進する人材を育成する。

②姉妹都市・友好都市との交流の支援(6月、9月)

豊川市が実施する姉妹都市アメリカ・キュパティーノ市や友好都市中国・無錫新区との交流事業に際して、求めに応じて、部会を中心に支援を行う。

(4) 外国語講座

市民を対象に、国際交流を目的とした多言語の外国語講座を開催することにより、国際交流イベントへの参画を促して、外国人住民との相互理解と市民の国際感覚の涵養に努め、国際化に対応できる人材づくりの一助とする。

①英語講座(定員22名、ボランティアガイド入門は20人)

ア 基礎英会話	5月～8月
イ やさしい英会話	5月～7月
ウ 英会話初級A	9月～11月
エ 英会話初級B	9月～11月
オ 英語ボランティアガイド入門	12月～3月

カ 英語で楽しいディスカッション 12月～3月

②韓国語講座（定員20名）

ア 料理でおいしいハングル（初級以上） 9月～11月

③中国語講座（定員20名）

ア 使える中国語1（初級） 8月～11月

イ 使える中国語2（初級） 12月～3月

④スペイン語講座（定員20名）

ア やさしいスペイン語（初級） 12月～3月

⑤フランス語講座（定員20名）

ア 美味しく楽しくフランス語（入門～） 5月～7月

公益目的事業3

外国人と共に暮らす多文化共生社会の実現に向けた事業

(1) 日本語学習支援事業

外国人住民が日本人と円滑なコミュニケーションをとり、安心して日常生活を送ることができるよう支援するために日本語教室を開催する。日本語習得の機会を提供し、日本の文化や制度などの理解を深められるよう日本語の上達を図り、多文化共生社会づくりを推進する。

①日本語教室の開催（通年）

日本語を勉強したい外国籍の方々がより多くの受講機会を得られるよう、本年度も引き続き平日の午前中の教室を開催する。また従来から継続している土曜日の夜間も開催し、日本語習得を希望する外国人を日本語の能力別にクラス編成し、ニーズにあった日本語指導を行う。

②ひらがなしんぶん発行事業（通年）

市内在住の外国人家族を対象に「ひらがなしんぶん」を発行し、漢字の読みや日本語の使い方、また生活にかかわる情報などを提供する。

③第5回日本語スピーチコンテスト（11月）

市内に在住する日本語が母語でない小学生以上の男女に、日本での生活を通しての考え方や伝えたいことを発表する場の提供や、日本人市民が外国人市民の意見を聞く機会として、日本語スピーチコンテストを開催し、市民相互の交流や国際理解を図る。また東三河5市国際交流協会が共催する東三河日本語ス

ピーチコンテストを開催（平成27年1月予定）し、東三河地域での相互交流や国際理解を図る。

（2）ペクラ事業

市内に在住する外国人の50%以上をラテンアメリカ籍の方々が占めているが、その子どもたちへの日本語教室及び母国語教室を開催し、日本語や母国語で円滑なコミュニケーションをとれるよう学習支援を推進することで、多文化共生社会づくりを推進する。

①ポルトガル語、スペイン語、日本語教室、教科学習会の開催

（3）外国人多言語相談事業

外国人市民が抱える問題に対し、母国語で相談できるよう住民に関する生活情報等の収集、提供を多言語で行うことにより、外国人市民への生活支援の充実を図り、多文化共生社会づくりを推進する。

①スペイン語、英語、中国語による生活相談及び情報提供

②お巡りさんと話す会（7月）

子どもを取り巻く事件や多発する交通事故現状について警察署職員から、事件・事故に遭わないようにするための方策などの指導をしてもらう会を開催する。

（4）翻訳事業

住民、行政機関、各種団体からの翻訳の依頼に対し、必要な翻訳を行う。

①個人から行政機関等に提出する公文書、市役所等が外国人向けに提供する行政情報及び公的な文書の翻訳

公益目的事業4

地域の国際化を推進するための調査研究及び情報提供に関する事業

（1）機関誌発行事業

地域の国際化に関する情報を市民や関係団体に情報提供することで、市民レベルでのボランティア活動の推進と地域の国際化を図る。

①機関誌「We」の発行

発行回数：年4回（5月、8月、11月、2月）

発行部数：1,400部/回

(2) 多言語翻訳事業

日本語が分からないために情報格差が生じがちな外国人市民に対し、市などの行政からの依頼による情報提供や当協会からの情報提供の一部を母国語で提供する。

(3) 協会ホームページの運営

広報手段として重要なホームページを管理・運営することにより、生活に必要な情報を速やかに提供し、協会の事業やボランティア活動に参加を促し、地域の国際化を促進する。

① ホームページでの情報提供

ホームページを活用し、本協会の行事予定や活動状況、語学講座や文化講座の諸事業をより多くの市民に情報提供し協会事業への参加を促すため情報発信を行う。

(4) ざっくばらんに話そう

外国人市民が、日常生活の中で疑問に思っていること、分からないことなどを話す機会を設け、地域の多文化理解を図るとともに、各種機関に対し情報提供することで地域の国際化に寄与する。

① 「ざっくばらんに話そう」の開催

過去に開催した結果を基に、外国人市民から分野別に意見を聞く会を開催し、地域の国際化のための課題の調査研究や情報提供を進める。

収 支 予 算 書 (損益)

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

公益財団法人豊川市国際交流協会

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[2,782,000]	2,782,000	[0]
基本財産受取利息	2,782,000	2,782,000	0
特定資産運用益	[0]	0	[0]
特定資産受取利息	0	0	0
受取会費	[2,960,000]	3,050,000	[△ 90,000]
賛助会員受取会費	2,960,000	3,050,000	△ 90,000
事業収益	[3,916,000]	11,475,000	[△ 7,559,000]
参加費等収益	3,748,000	11,307,000	△ 7,559,000
負担金収益	0	0	0
雑収益	168,000	168,000	0
受取補助金等	[13,199,000]	13,939,000	[△ 740,000]
受取豊川市補助金	13,198,000	13,938,000	△ 740,000
受取一般補助金	1,000	1,000	0
受取寄附金	[10,000]	1,000	[9,000]
受取寄附金(一般)	10,000	1,000	9,000
雑収益	[193,000]	64,000	[129,000]
受取利息	2,000	1,000	1,000
雑収入	191,000	63,000	128,000
経常収益計	23,060,000	31,311,000	△ 8,251,000
(2) 経常費用			
事業費	[16,629,000]	22,883,000	[△ 6,254,000]
役員報酬	451,000	0	451,000
給料手当	5,386,000	4,656,000	730,000
臨時雇賃金	1,211,000	1,391,000	△ 180,000
福利厚生費	1,789,000	1,699,000	90,000
会議費	51,000	6,000	45,000
旅費交通費	406,000	8,081,000	△ 7,675,000
通信運搬費	442,000	235,000	207,000
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	1,274,000	1,666,000	△ 392,000
修繕料	0	0	0
印刷製本費	933,000	780,000	153,000
燃料費	0	0	0
光熱水費	0	0	0
賃借料	573,000	7,000	566,000
保険料	5,000	34,000	△ 29,000
諸謝金	1,841,000	2,068,000	△ 227,000
租税公課	0	0	0
支払負担金	1,791,000	1,856,000	△ 65,000
支払助成金	300,000	318,000	△ 18,000
委託費	157,000	86,000	71,000
支払手数料	19,000	0	19,000
雑費	0	0	0
管理費	[7,468,000]	9,230,000	[△ 1,762,000]
役員報酬	1,810,000	2,261,000	△ 451,000
給料手当	2,542,000	3,334,000	△ 792,000
臨時雇賃金	304,000	0	304,000
福利厚生費	817,000	927,000	△ 110,000
会議費	12,000	12,000	0

旅費交通費	30,000	70,000	△ 40,000
通信運搬費	91,000	353,000	△ 262,000
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	10,000	50,000	△ 40,000
消耗品費	319,000	388,000	△ 69,000
修繕費	10,000	53,000	△ 43,000
印刷製本費	24,000	57,000	△ 33,000
燃料費	60,000	70,000	△ 10,000
光熱水費	0	0	0
賃借料	1,324,000	1,390,000	△ 66,000
保険料	0	0	0
諸謝金	0	0	0
租税公課	0	0	0
支払負担金	0	0	0
委託費	0	0	0
支払手数料	52,000	192,000	△ 140,000
雑費	63,000	73,000	△ 10,000
経常費用計	24,097,000	32,113,000	△ 8,016,000
評価損失等調整前当期経常増減額	△ 1,037,000	△ 802,000	△ 235,000
評価損益等	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,037,000	△ 802,000	△ 235,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,037,000	△ 802,000	△ 235,000
一般正味財産期首残高	1,145,697	971,714	173,983
一般正味財産期末残高	108,697	169,714	△ 61,017
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	215,750,000	215,750,000	0
指定正味財産期末残高	215,750,000	215,750,000	0
III 正味財産期末残高	215,858,697	215,919,714	△ 61,017

収支予算書内訳書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

公益財団法人豊川市国際交流協会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	共通		
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常増減の部							
基本財産運用利益	0	0	0	0	1,391,000	1,391,000	2,782,000
基本財産受取利息	0	0	0	0	1,391,000	1,391,000	2,782,000
特定資産運用利益	0	0	0	0	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0
受取会費	0	0	0	0	1,480,000	1,480,000	2,960,000
賛助会員受取会費	0	0	0	0	1,480,000	1,480,000	2,960,000
事業収益	239,000	3,112,000	417,000	148,000	0	3,916,000	3,916,000
参加費等収益	239,000	3,092,000	417,000	0	0	3,748,000	3,748,000
負担金収益	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	20,000	0	148,000	0	168,000	168,000
受取補助金等	0	1,155,000	235,000	0	7,329,000	8,719,000	13,199,000
受取豊川市補助金	0	1,155,000	235,000	0	7,328,000	8,718,000	13,198,000
受取一般補助金	0	0	0	0	1,000	1,000	1,000
受取寄附金(一般)	10,000	0	0	0	0	10,000	10,000
受取寄附金	10,000	0	0	0	0	10,000	10,000
雑収益	0	0	0	0	0	193,000	193,000
受取利息	0	0	0	0	0	2,000	2,000
雑収入	0	0	0	0	0	191,000	191,000
雑収入	249,000	4,267,000	652,000	148,000	10,200,000	15,516,000	23,060,000
経常収益計	1,595,000	11,263,000	1,994,000	1,777,000	0	16,629,000	16,629,000
(2) 経常費用							
事業費	43,000	306,000	54,000	48,000	0	451,000	451,000
役員報酬	517,000	3,646,000	646,000	577,000	0	5,386,000	5,386,000
給料手当	116,000	820,000	145,000	130,000	0	1,211,000	1,211,000
臨時雇賃金	171,000	1,212,000	215,000	191,000	0	1,789,000	1,789,000
福利厚生費	35,000	16,000	0	0	0	51,000	51,000
会議費	43,000	109,000	270,000	27,000	0	406,000	406,000
旅費交通費	0	299,000	53,000	47,000	0	442,000	442,000
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0
消耗什器備品費	297,000	651,000	311,000	15,000	0	1,274,000	1,274,000
消耗品費	64,000	192,000	6,000	671,000	0	933,000	933,000
修繕料	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0
燃料費	0	0	0	0	0	0	0
光熱水費	54,000	386,000	73,000	60,000	0	573,000	573,000
賃借料	2,000	0	3,000	0	0	5,000	5,000
保険料	121,000	1,671,000	38,000	11,000	0	1,841,000	1,841,000
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	0	1,731,000	60,000	0	0	1,791,000	1,791,000
支払負担金	0	180,000	120,000	0	0	300,000	300,000
支払助成金	130,000	27,000	0	0	0	157,000	157,000
委託費	2,000	17,000	0	0	0	19,000	19,000
支払手数料	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0
管理費	0	0	0	0	0	0	0
役員報酬	0	0	0	0	0	7,468,000	7,468,000
給料手当	0	0	0	0	0	1,810,000	1,810,000
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	2,542,000	2,542,000
福利厚生費	0	0	0	0	0	304,000	304,000
会議費	0	0	0	0	0	817,000	817,000
旅費交通費	0	0	0	0	0	12,000	12,000
通信運搬費	0	0	0	0	0	30,000	30,000
減価償却費	0	0	0	0	0	91,000	91,000
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	10,000	10,000
修繕費	0	0	0	0	0	319,000	319,000
印刷製本費	0	0	0	0	0	10,000	10,000
燃料費	0	0	0	0	0	24,000	24,000
光熱水費	0	0	0	0	0	60,000	60,000
賃借料	0	0	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0	1,324,000	1,324,000
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	0	0	0
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0
支払助成金	0	0	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	52,000	52,000
経常費用計	1,595,000	11,263,000	1,994,000	1,777,000	0	16,629,000	16,629,000
経常増減額	△1,346,000	△6,996,000	△1,342,000	△1,629,000	10,200,000	△1,113,000	△1,037,000
当期経常増減額	△1,346,000	△6,996,000	△1,342,000	△1,629,000	10,200,000	△1,113,000	△1,037,000
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0
経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産増減額							
一般正味財産期首残高							△1,037,000
一般正味財産期末残高							1,145,697
当期末正味財産増減の部							108,697
指定正味財産増減額							0
指定正味財産期首残高							215,750,000
指定正味財産期末残高							215,750,000
正味財産期末残高							215,858,697

平成26年度公益財団法人豊川市国際交流協会

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

借入れの予定：なし

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定：なし